

すべての先生が自由進度学習を理解し、実践できるようにするための解説資料

【FAQ】よくある質問と答え

Q1: 自由進度学習とは？

Q2: 自由進度学習を行うときのポイントは何か？

Q3: 自由進度学習の学習計画表とは？

※参考文献: みんなの教育技術「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を目指す～学校経営と授業改善計画～引用

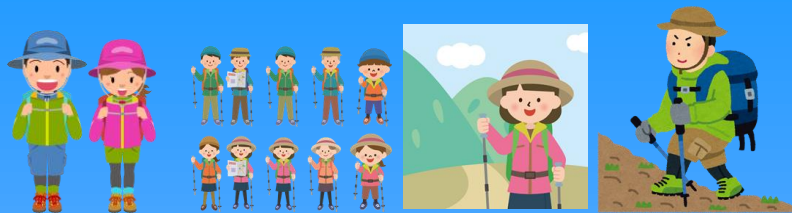
令和5年9月8日(金)

鹿児島市立星峯西小学校

校長 谷口源太郎

単元内自由進度学習の実践イメージ(私見)

(登山に例えると)



単元目標

同じコースで自然発生的に学び合う

↑
登り方やコース(学び方)は
自己選択・自己決定できる



「自由進度学習」とは

中央教育審議会が2021年1月に出した答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」で示された「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する先行的な実践として注目されている学習スタイルの1つが自由進度学習です。自由進度学習は、教師が計画する学習内容のフレーム内で、子ども一人一人が課題を自己決定し、計画を立てて自分の学習速度で進め、その過程で友達と相互に作用しながら学びを深めていくことを目指したものです。

自由進度学習が注目されるようになった背景

これまでの授業の多くは、同じ内容を同じ方法で、そして同じ時間で学ぶスタイル、つまり一斉・画一的に行われていました。この形態は、一定の内容を効率よく伝達することができますが、子ども一人一人の学びへの興味・関心を十分に生かすことは難しく、結果として受け身の姿勢を助長することになってしまいます。

これでは、現行の学習指導要領で示されている、子ども一人一人の興味・関心や発達の状況等を踏まえてそれぞれの個性を伸ばし、資質・能力を高めていく教育は難しいということになります。

その授業改善の方策の1つとして「自由進度学習」が取り上げられるようになりました。2022年4月に組織された、中央教育審議会の「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会」では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための方策等の検討の中でこの学習スタイルも紹介され、話題となりました。

実現のための必要な手立てとして3つのポイント

①**学習計画表の工夫**: 学習計画表には、全員が必ず取り組む学習と自分で決めて自由に取り組む学習を設定し、学習内容も選択できるようにする。

②**個への支援の工夫**: タブレット端末の自動採点機能や振り返りカードを活用して、個々の学習の進捗や定着の状況を把握する。子どもの自己表現を大切にしながらその結果を教師が把握して個別の支援に生かす。

③**環境整備**: 子供一人一人の興味・関心、学習のスピード等に対応できる教材の準備や、実験や観察等の体験的な活動を繰り返しできるスペース、1人1台のタブレット端末を使いこなすデジタル環境などを整える。

単元内自由進度学習とは

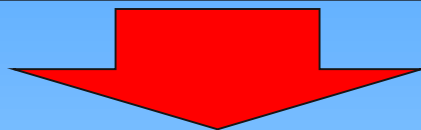
自由進度学習の発想に基づく実践は、1980年代に既に行われていました。義務教育の在り方ワーキンググループの主査を務める奈須正裕氏は、「個別化・個性化教育の代表的な事例」として、愛知県東浦町立緒川小学校の1980～1990年代の実践とその効果検証の事例を挙げています。緒川小学校の「**単元内自由進度学習**」の実践は、単元の学習を子供が自立的に学んでいくことを目指しています。**教師は**、学習のはじめに単元のねらい、時間数、標準的な学習の流れ、活用できる学習材や機会を提示します。**子どもは**、それらをもとに自分の興味や学習方法・スタイルに応じた学びをどう進めるか学習計画を立てて、個々に進めていくというものです。その過程では、同じ内容や方法を扱っている友達との交流、協働的な関わりも必要に応じて行われます。

単元内自由進度学習の授業構想とその流れ

単元内自由進度学習の授業構想

※学習内容のフレームづくりが重要

(単元のねらい、時間数、標準的な学習の流れ、活用できる学習材や機会を提示、最終的なゴールの姿等)



単元内自由進度学習の流れ

- ①ガイダンス(単元全体の目標や流れなどの見通しを子どもがもつ段階)
- ②計画(教師が用意する「学習の手引き」を参考に自分で計画を立てる段階)
- ③追究(問いに対して追究を進める段階)
- ④まとめ(学習内容と学習方法を振り返る段階)

自己選択と自己決定を大事にする「学習計画表」

自由進度学習では、教師が作成した学習計画表にもとづいて、子どもたちが自分のペースで学習を進めていく。自己選択と自己決定を大事にしながら教科の内容を学ぶ学習形態。学習計画表では多様な選択肢を準備して学び方の順番を子どもたちに選択させるほか、タブレットやプリント、教科書など、どんな教材を使って学習するかななどを自ら選んで学べるように学習材、学習環境を整えている。



「個別最適な学び」



「協働的な学び」

10 平均とその利用 学習計画表

回	めあて	全 (どちらか選択)		全		練習 (宿題)		発展
		プリント	教科書	チェック	計ド	ショート	練習	
1	①平均の求め方がわかる。 👉平均・ならす・合計・個数・例えば・・・	A	150・151	/	/	/	/	/
2	①0の入った平均の求め方がわかる。 👉数字が0の時、例えば・・・	B	152	①	/	/	/	/
3	①いくつかの数の平均を使って、その何個分かの量がわかる。 👉1個の平均・何個分・例えば・・・	C	153	/	29	12	/	100 101
4	①グループごとの平均から、全体の量を求めることができる。 👉平均→全体の量、平均同士を比べることは・・・、例えば	D	154	②	30	/	/	102
5	①平均を使って自分の歩幅を求めよう！ まとめは知らない。	E	155	/	31	13	/	103 104
6	①自分の理解度を確かめる。 まとめは知らない。	F	156	ミニテ	/	/	/	105 振り返り
★	【宿題か授業で】 算数日記 p.150-156 の内容をまとめる。(問題を解くことではなく、学んだことを整理することを目的とする。) ノートか解説動画 (5分) にまとめる。							

①学習計画表の充実

単元のねらい、時間数
標準的な学習の流れ、
活用できる学習材や機
会を提示、最終的なゴ
ールの姿等

②学習環境づくりの工夫

多様な選択肢を準備
学習材、学習環境

③個への支援の充実

自分のペースで学習
自己選択と自己決定
学び方の順番を子ども
たちに選択させる

進め方

- ①★まとめは1分解説動画で！「何いいね👍」がつくか・・・。👉の言葉は必ず入れる。
★早いことがよいわけではない。★自分のペースで確実に理解していくことが大切。
★仲間を見捨てない。仲間と共のびる！
- ①「分かったふり」をしない。この勉強法でもっともいけないこと。
- ②ていねいに書く。※提出時にきまりが守られなければ全直し
- ③完璧に理解ができたならチェック！※チェックは自分の力だけで、ノーヒント！
- ④教科書かプリントのどちらかを選択して取り組む。チェックは必ずやる。
- ⑤宿題はいつでもどうぞ。締め切りは？月？日です。計画表にも入れ込みましょう。
- ⑥計画に遅れがある場合などは自分で調整しましょう。自由進捗で必要となる大事な力です。
- ⑦コーナーはいつでもどうぞ！楽しみながら力をつける。
- ⑧教科書と資料箱のスマレクはヒントにどうぞ

終